

渋谷区高齢者デジタルデバイス解消に向けた実証事業 の中間レポートを公開しました

渋谷区では、65歳以上※1の渋谷区民で、スマートフォンを保有していない人に、区がスマートフォンを2年間無料で貸し出し、機器やアプリの活用を支援することで、高齢者の生活の質（QOL）の向上を図ることを目的とした「高齢者デジタルデバイス※2解消事業」を実施しています。

※1 令和4年3月31日時点

※2 インターネットやパソコンなどの情報通信技術を利用できる者と、利用できない者との間に生じる格差

このたび、事業を開始してから約1年が経過し、スマートフォンがどのように利用され、どのような影響があったのかなど、中間時点の進捗状況をレポートとしてまとめたものを、区ホームページにて公開しました。

<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kurashi/koreisha/dejitarudebaidokaisyou.html>

※ 貸与期間中（令和3年9月～令和5年8月）、スマートフォンの利用ログ（定量データ）や、講習会のアンケート（定性データ）などを収集・分析したものです。このレポートを基に、より効果的な施策を随時検討しています。

※ 渋谷区及び本事業の委託事業者であるKDDI株式会社、また、区とS-SAP協定を締結している津田塾大学と連携協力し作成しました。

本事業について取材や記事として取り上げていただきますようよろしくお願い申し上げます。

全国初！渋谷区高齢者デジタルデバイス解消事業とは

1 スマートフォンの貸与

- 令和4年8月末現在 約1,413人
- 2年間※の実証事業
- 通信料・通話料は無料（区が負担）
- 65歳以上の未保有者で希望する区民対象
- 区が推奨する機能をキッティング



※ 令和3年9月から令和5年8月まで（募集終了）

2 スマートフォンの活用支援

- 専用コールセンターを設置
- 必修スマートフォン講習会や個別相談会など開催
- 「デジタル活用支援員」の募集・育成・活用
＜概ね60歳以上の一般高齢者向け＞
- 予約制個別相談「なんでもスマホ相談」
- 予約不要のコミュニティー「スマホサロン」
- テーマ別講習会（ニーズを捉えたアプリ紹介）

4 データの収集・分析 / EBPM

- ログデータなどを収集・可視化
- 産官学で連携した効果検証



- 利用状況などを分析し、より効果的なデジタルデバイス対策を随時検討

※ EBPM：Evidence-Based-Policy-Making。証拠に基づく政策立案

3 アプリの活用 / 分野横断的取り組み

- 防災力の強化
（「しらせる君」登録、渋谷区防災アプリ）
- LINEによるオンラインサービスの推進
各種申請・健康相談ほか
- 区内スタートアップ企業と連携したアプリの開発・提供
- 介護予防・フレイル予防の促進
- デジタル地域通貨（ハチペイ）と連携した地域振興、コミュニティ活性化など（予定）



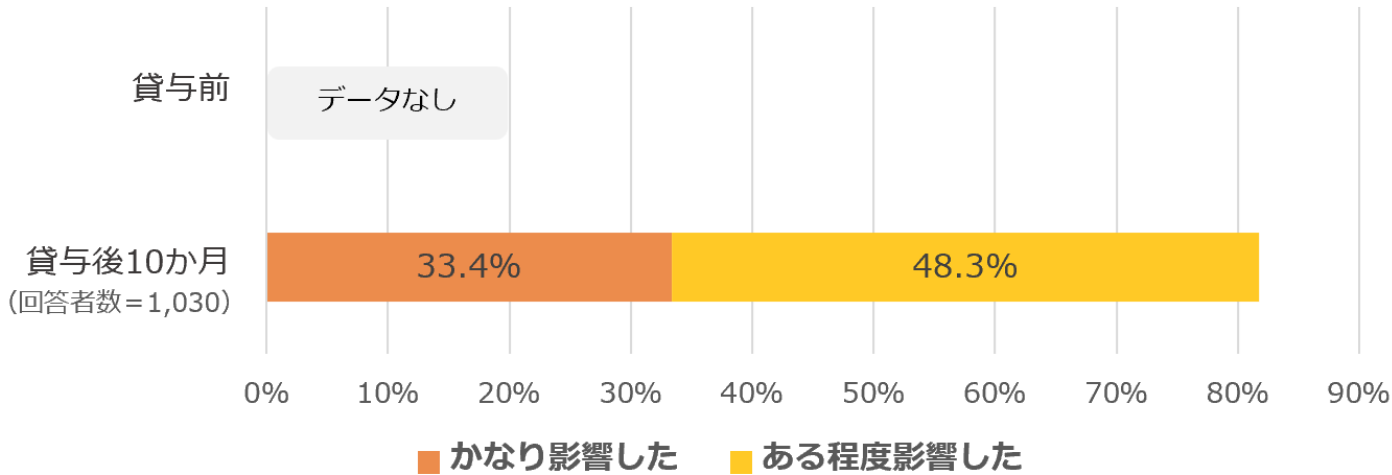
＜本事業に関するお問い合わせ先＞

渋谷区福祉部高齢者福祉課 TEL：03-3463-1873 FAX：03-3463-2873

中間レポート（一部抜粋）

▼参加者の8割以上が、スマートフォンを利用することで**生活に良い影響があった**と回答しています。

Q：スマートフォンを利用することで、生活に良い影響がありましたか。

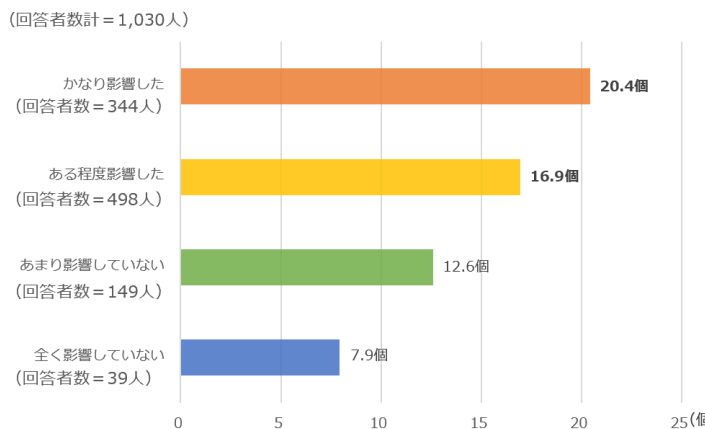


回答期間： 貸与前（入門編）：2021年9月6日～2021年10月6日
貸与後10か月： 2022年6月27日～2022年7月20日

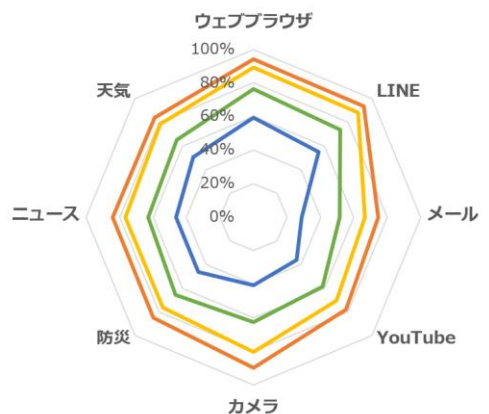
▼生活に良い影響があった人ほど、多くのアプリを使いこなしている傾向があり、「まったく影響していない」と回答した人でも、約半数の人が「防災」「ニュース」「天気」「ウェブブラウザ」「LINE」などの主要なアプリを利用されています。

「Q：スマートフォンを利用することで、生活に良い影響がありましたか。」回答別の平均アプリ利用数と、上位8アプリの利用率（2022年3月時点）

生活への影響度別平均利用アプリ数



生活への影響度別アプリ利用率



— かなり影響した — ある程度影響した — あまり影響していない — 全く影響していない

回答期間：貸与後10か月（2022年6月27日～2022年7月20日）